

## 社会福祉法人 いわせ長寿会 令和元年度 事業報告

令和元年度につきましては、「共に生き、わかちあえる毎日」の運営理念実現のため役職員一丸となり、特に「施設の廊下を地域の方々の玄関につなぐ」をモットーに公益的取組事業に力を入れて、努力して参りました。

稼働率については、例年通り各事業所、ユニットそれぞれ事業計画に基づき「財務・顧客・業務・人材」の4つの視点で目標設定を行い事業を展開いたしました。

以下項目別に詳細を報告いたします。

## 1-1. 評議員会

令和元年度において評議員会1回を下記のとおり開催致しました。いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R1.6.21 定時評議員会	評議員6名 監事2名 理事2名	1、平成30年度事業報告並びに決算について 監事監査報告 2、役員の選任について	法人役員任期満了に伴う選任について、可決承認された。

## 1-2. 理事会

令和元年度において理事会4回を下記のとおり開催致しました。いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R1.5.20 定例理事会	理事5名 監事2名	1、平成30年度事業並びに決算の承認について 監事監査報告 2、定時評議員会の招集について 3、役員の選任について 他、報告1件	2は、定時評議員を招集するもの 3は役員候補者を推薦するもの いずれも原案通り可決承認された。

RI.6.21 定例理事会	理事 6 名 監事 2 名	1、理事長の選任の承認について	理事長選定について の承認を求めるもの  原案通り可決承認さ れた。
RI.12.20 定例理事会	理事 4 名 監事 2 名	1、介護技能実習生受入れの承認について  2、第1次補正予算（案）の承認について  3、理事長の利益相反取引の承認について  他、報告1件	1は、介護技能実習生 受入れについての承 認を求めるもの。  2は、過不足が認めら れるものの補正  いずれも原案通り可 決承認された。
R2.3.26 定例理事会	理事 6 名 監事 2 名  書面議決	1、徴収不能引当金の計上の承認について  2、積立金および積立資産の計上および積 立資産支出の承認について  3、期末賞与支給の承認について  4、令和元年度最終補正予算（案）につい て  5、諸規程の一部改定について  ・経理規程の一部改定  ・給与規程の一部改定	1は、利用料の徴収不 可能見込についての 承認を求めるもの。  2は、定期積金満期に 伴う計上支出の承認 を求めるもの。  3は期末賞与支給の 承認を求めるもの。  4は決算見込で過不 足が確実なものの補 正。

		<p>・人事考課規程の一部改定</p> <p>6、令和2年度事業計画（案）について</p> <p>7、令和2年度資金収支予算（案）について</p> <p>8、令和2年度短期借入限度額の承認について</p> <p>9、理事長の利益相反取引の承認について</p> <p>他、報告1件</p>	<p>5は法改正に伴い関連する改定及び人事制度変更に伴う一部変更</p> <p>6～8は来年度の事業及び予算案の承認を求めるもの</p> <p>9は利益相反契約の承認を求めるもの</p> <p>新型コロナウイルス影響により書面議決にて承認された</p>
--	--	---	--

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

## 2-1 特別養護老人ホーム

### 1. 目標

- (1) 10年間やってきたことを見直し、標準化された介護と個別的な介護、双方が提供出来る  
 (2) 顔の見える施設として地域で存在感がある施設になる

### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	新規加算の算定	新たな加算の算定	新たな加算を1つ以上算定	0% 未実施
	②	年間平均稼働率 97.4%の達成	インフルエンザ等の集団感染症の発生を予防する	集団感染発生なし	年間稼働率 86.3% 達成率 88.6%
顧客	①	信頼される施設となる	家族との信頼関係の構築と維持	満足度調査アンケート回収率 6割以上	100%
	②	地域で存在感のある施設となる	地域の福祉関連での困りごとの相談窓口となる	出前講座や祭り参加など外へ出る行事 3回以上	100% 出前講座 3回 悠久祭り参加
業務	①	看取り期利用者への対応	看取り利用者・家族への柔軟な対応	看取りの方の家族へ状況連絡週 1回以上	100%
	②	情報の一元化	誰でも知りたい情報がどこにあるかが分かる環境作りと申し送りの標準化	情報共有の方法を明文化する	① 現場用申し送り基準策定 ② 多職種方法未達
人材	①	介護技術の標準化	各々の介護技術のばらつきをなくし、知識技術水準を標準化する	ユニットごとの技術講習会を3か月に1度実施	0% 未実施
	②	ユニット間の協力	各ユニットの個性を保ちながら、緊急時などフォローしあえる体制作り	ユニット間で夜勤を行き来できる職員の育成 (各ユニット 2名以上)	100% 8名実施

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2-2

短期入所生活介護

## 1. 目標

- (1) 年間平均稼働率 90 パーセント
- (2) 根拠を理解した介護を行えるようになる

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	コスト意識をもった業務	ショート利用中での体調不良の早期発見が出来る	ユニット勉強会 年4回	1回実施/25%
	②	緊急利用に対応が出来る	情報の少ない利用者の場合も緊急利用を可能にする為様々な場面想定をして訓練する。受診対応者増やす。	事例検討3件以上	1件実施/33%
顧客	①	忘れ物、荷物誤混入が予防できる	介護人室の荷物置き場の整理整頓を行い、荷物と荷物の間隔をあけて預り、退所時には指さし点検を声を出しながら行う事で予防する	忘れ物、誤混入 年間10件以下	年間17件/0%
	②	利用中の様子、事故による苦情の際の対応が出来る	経過記録を根拠を交えた内容で詳しく残す。	苦情年間3件以下	年間2件/100%
業務	①	転倒事故が防げる	随時、利用者のアセスメントを行い、転倒リスクの高い利用者に関して対応方法を検討する	転倒事故年間8件以下	7件/100%
	②	服薬事故が防げる	声出し確認、複数人での確認を行う事、ipadでアラーム機能も使用する。名字や名前が同じ利用者の薬札は離す	服薬事故、年間3件以下(職員起因は0)	服薬事故9件(職員起因4件)/0%
人材	①	根拠を理解した介護を行う	ミーティング時など根拠を説明し話せるようになる。又もち回りで司会進行も行う事で説明の仕方、まとめ方も覚える	サービス内容検討会、月3件以上実施	ユニット会議時に実施できている/100%
	②	働きやすい環境作り	健康状態の聴き取り、シフト調整。誰でも意見や要望を言えるようになる	年3回の面談の実施(人事考課以外)	1名のみ実施/11%

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-3

通所介護

## 1. 目標

- (1) 情報発信と共有の充実でサービスの質の向上を図る。  
 (2) 安定収支の為の手段・方法の確立（稼働率 78%）

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	利用者数の獲得	登録者獲得に向けた情報発信の継続	稼働率 80% 登録者 65 名	稼働率 81.5% 登録者 57 人 達成率 101%
	②	中止率の低減	異常早期発見と前日確認	中止率 5%	中止率 5.3% 達成率 94.3%
顧客	①	提供商品の取り組み	サービス充実に向けたアクティビティ等の商品となる取組の実施	各職員 2 商品	小集団レク取組 リハ材料作成 達成率 100%
	②	目的の明確化	各利用者毎のプラン目標に沿った小集团的取組の充実	グループ表	造作物取組 達成率 80%
業務	①	家族理解の構築と情報共有	送迎時の情報交換の共有	アセスメント更新 10 名	更新 5 名 達成率 50%
	③	状況に応じたサービス提供	基本介護の充実と接遇の徹底	規定集B以上	71.4%
人材	①	外部ボランティア活用の継続	① 地域理解と情報発信 ② 社会参加促進	年間 150 件	18 人 151 回
	②	働きやすい環境作り	シフト調整と会議方法	毎月	開催 8 回 達成率 66%

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-4

居宅介護支援事業所

## 1. 目標

- (1) 新規プランの獲得とプラン実績数の安定
- (2) サービスの質の向上

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	新規契約の獲得	実績数の安定維持	新規契約 月平均2 件	51件の新規 212%達成
	②	認定調査の受け入れ	認定調査の実施	年間78件	55件 70%達成
顧客	①	利用者・家族の満足度の確認・向上	利用者・家族の意向に沿った対応	アンケートで満足度80%	未実施
	②	利用者・家族との信頼関係の構築	利用者・家族との連携・意向確認・入退院時の医療との連携	入退院時 早期対応 (入院時7 日以内の 情報提供) ・必要に 応じて追 加訪問	31名入院 入院加算Ⅰ算定 29名 入院加算Ⅱ算定 2名 93%達成
業務	①	ケアマネ業務内容の情報把握・流れの見直し	情報の共有 ・業務負担や役割の分担平均化	月1回の 居宅スタッ フ会議の 開催	毎月実施 100%
	②	行政・包括・医療・地域との連携強化	情報の共有・研修参加・地域ケア会議参加・連絡協議会定例会参加	年間12回 以上の参 加	地域ケア会議参加 天栄村・須賀 川市
人材	①	スキルアップ	内部外部研修の積極的参加	年間10回 以上参加	内部研修7回 外部研修5~6回 100%達成
	②	働きやすい職場環境作り	お互いの仕事の状況の把握と協力し合える体制作り・オンとオフを区別し確実な休日の確保	計画的な 有休の 利用	有休取得



# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所名・ユニット名

2-5

訪問介護

## 1. 目 標

- (1) 訪問件数の量的拡大
- (2) 身体介護・生活援助のサービスの質の安定

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	新規利用者獲得	各居宅へ空き状況などの情報発信と、市内訪問介護事業の動向を把握する	新規契約 月平均2名	新規14件 達成率50%
	②	認知度アップ	訪問介護の認知度アップに繋げる	営業活動 1回/月	年6回 達成率50%
顧客	①	信頼関係の構築	サービス内容の質の向上	利用者アンケート 満足度 80%以上	未実施
	②	訪問介護業務の標準化	利用者、家族、居宅介護支援事業所との連携を図り、ニーズの再確認とアセスメントの実施	1回/半年	上半期のみ実施 達成率50%
業務	①	ケアプランに沿ったサービスの提供	他職種連携の強化	担当者会議出席率 100%	毎月実施 100%
	②	スケジュール管理	業務の効率化に努める	同行訪問率：常勤 100% / 兼務 70%	100%
人材	①	知識技術の向上	内外部への研修 スタッフミーティングと勉強会への参加	1回/月	100%
	②	リフレッシュ休暇の取得	有給休暇の取得	有給休暇・半休 1回以上/月	100%

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-6

訪問看護

## 1. 目標

- (1) 利用者月平均40人の達成
- (2) 訪問看護サービスの質の確立

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	新規利用者獲得	居宅介護支援事業所や診療所等の訪問を通して、顧客獲得を図り認知度アップを図る。	月平均2名	月平均2.1名
	②	時間管理の徹底	労働生産性向上を図る	付加価値額/職員数	生産性伸び率 69%
顧客	①	訪問看護サービス業務の確立	個々に合った臨機応変な対応を可能にする	アセスメントの見直し評価	88%実施
	③	利用者・家族の信頼構築	サービスの質向上の為に	アンケート満足度60%以上	未実施
業務	①	多職種連携	内外部の職員間連携強化	担当者会議参加100%	100%
	②	業務手順書等の確立	手順書やマニュアルの整備で業務の標準化を図る。	手順書又はマニュアル作成	現在も作成中
人材	①	看護技術の標準化	施設内勉強会や研修への参加	1人年3回以上	3.4回 100%

# 令和元年度 事業所別事業報告

事業所・ユニット名

2-7

介護職員初任者研修事業

## 1. 目 標

- (1) 当法人職員人材教育能力の向上
- (2) 地域における福祉理解向上と人材育成

## 2. 事業計画達成のための業務目標

業務内容目標	具体的活動計画	結果/達成率
第1回介護職員初任者研修	令和元年6月～9月	令和元年6月15日～ 9月4日
募集人員及び受講費用	定員 20名     30,000/1人	応募者 5名 卒業生 5名
募集実施地域	須賀川市・鏡石町・天栄村・矢吹町・ 郡山市	須賀川市 3名 石川町 3名
募集方法	新聞折込・地域回覧版 ホームページ・フリーペーパー	新聞折込・地域回覧版 ホームページ・フリーペーパー

### 3 職員研修

職員の技術力向上及び知識力向上を目的に、より利用者に「安心・安全」に生活していただくため実施し、1 講義を上期・下期に分けて実施し参加しやすい環境にも積極的に取り組みました。

#### 3-1 施設内研修

時 期	参加者数	参加率
上半期 (6/28)	65 名	83.3%
下半期 (11/15)	67 名	89.3%

\*内容：事故防止・食中毒蔓延防止・感染症予防・認知症・苦情相談・急変時対応

#### 3-2 施設内外講師研修

開催数	講師人数	延参加数
全 3 回	5 名	68 名

#### 3-3 施設外研修

主催団体等	研修名	延参加数
福島県	認知症介護基礎研修	2 名
	介護保険集団指導	5 名
福島県社会福祉協議会	キャリアパス対応研修	4 名
	現任職員研修	2 名
	法人役員研修	3 名
福島県老人福祉施設協議会 全国老人福祉施設協議会	職員スキルアップ等研修他	5 名
福島県福祉サービス振興会	職員スキルアップ等研修他	5 名

ユニットケア推進センター	ユニットケア研修	3名
その他	職員スキルアップ等研修他	92名
	その他管理運営等に関する研修	18名
延べ参加者数		139名

#### 4 健康管理

入居者の健康管理は、嘱託医や協力医療機関との連携に努めながら「早期発見・早期対応」に努め、近年増加傾向にある終末期における医療の在り方等も嘱託医や家族との話し合いのもとに進めました。

##### 4-1 嘱託医師及び協力医療機関

嘱託医師	阿部内科医院（阿部裕光医師 内科医） 毎週木曜日
協力医療機関	公立岩瀬病院 森宿歯科医院（口腔指導年5回）

##### 4-2 入院状況等

1. 入院実数	30人
2. 死亡者数	27人（看取り19人）
3. 救急車要請	10件

#### 5 苦情及びご意見等

苦情件数（全事業含）	7件（接遇6件・利用者対応1件）
ご意見箱投書	6件（公表可のみ 感謝6件）

## 6. 面会者実績

年 度	面会者数	月平均
29年度	4,406人	367人
30年度	5,610人	467人
元年度	6,016人	501人

## 7. 公益的な取組内容

社会福祉法の改正等により社会福祉法人の責務として地域における公益的取組の実施が求められました。いわせ長寿会としても「施設の廊下を地域の方々の玄関につなぐ」をモットーに取組に努めました。

内 容	開催時期	開催場所	その他
フリーマーケット	10月	長寿苑玄関前ホール	13店舗 180名来苑
高齢者疑似体験	10月	いわせ悠久まつり	体験者約120名来店
出前講座	11月	大久保地区大和荘	地域住民60名参加
出前講座	11月	今泉地区おそう庵	地域住民30名参加
出前講座	11月	仁井田地区区民館	地域住民40名参加
介護教室（無料上映）	2月	いわせ長寿苑交流室	事前申込者41名参加
長寿苑ギャラリー	通期	いわせ長寿苑内	6名展示

★7月「こどもしょくどう」無料上映会（社福）うつみね福祉会と共同開催

8、主な行事の実施状況（家族会と共催）

開催時期	事業内容	内訳	主催
平成31年4月21日	観桜会	観桜会として、花見膳を提供し利用者と一緒に食する 買い物イベント開催 家族70名	家族会
令和元年9月8日	敬老会	記念品を贈り、敬老をお祝いする 須賀川市長代理 ：関根様 理事・評議員 お祝い該当者：16名	長寿会との共催
	感謝祭	記念式典後食事をしながら楽しい一時  出席者：家族会46名  *ゲスト出演 須藤 仁美 フラクラブ「吐'ヲ」 大久保ふる里保存会 山寺秀麗の会	長寿会との共催
令和元年11月23日	そば祭り	そば打ち体験、実食として長沼ナタネ・ソバ生産組合様のご協力のもと実施 出席者：家族会11名	長寿会との共催
平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	誕生祝い	利用者様全員へ誕生日のお祝いに記念品を贈る。1人上限1,500円	家族会